

[吸収式冷凍機] 点検基準

点検項目	シーズンイン点検	シーズンオフ点検	シーズンオン点検
1. 基礎・固定部	①亀裂、沈下等の有無を点検する。 ②固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。	①亀裂、沈下等の有無を点検する。 ②固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。	①取付状態を点検する。
2. 外観の状況	①腐食、変形、損傷等の有無を点検する。	①腐食、変形、損傷等の有無を点検する。	①腐食、変形、損傷等の有無を点検する。
a. 本体			
b. 保温材及び保冷材	①損傷及び脱落の有無を点検する。	①損傷及び脱落の有無を点検する。	
3. 付属品	①正常値を指示していることを確認する。 ②取付部等の漏れの有無を点検する。 ③汚れ及び損傷の有無を点検する。	①正常値を指示していることを確認する。 ②取付部等の漏れの有無を点検する。 ③汚れ及び損傷の有無を点検する。	①正常値を指示していることを確認する。 ②取付部等の漏れの有無を点検する。 ③汚れ及び損傷の有無を点検する。
a. 圧力計及び温度計			
4. 気密確認	①機内圧力が規定値以内であることを確認する。		
5. 電気系統	①絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	①絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	
a. 操作回路及び電動機回路			
b. 端子	①緩み、変色及び破損の有無を点検する。	①緩み、変色及び破損の有無を点検する。	
c. タイマー	①起動制限、遅延、その他のタイマーが設定値で作動することを確認する。		
d. サーマルリレー	①キャンドポンプ及び抽気ポンプ用サーマルリレーの設定値を確認する。		
e. 電極棒	①電極棒の機能を点検する。	①必要に応じて電極棒を抜き取り、亀裂または折損の有無を点検する。	①電極棒の機能を点検する。
f. 操作盤内	①異物の付着、緩み及		

	び変形の有無を点検する。		
g. 接地	①断線及び緩みの有無を点検する。 ②接地抵抗を測定し、その良否を確認する。		
6. 保安装置 a. 作動試験	①リレー及び保護装置が規定値で作動することを確認する。		
b. インターロック	①作動の良否を点検する。		
7. 蒸気圧力 ——調整弁	①リンク装置の緩みの有無を点検する。 ②実作動及び疑似回路により作動させ、その良否を点検する。		①リンク装置の緩みの有無を点検する。 ②実作動及び疑似回路により作動させ、その良否を点検する。
8. 冷水及び 冷却水系統	①漏れの有無を点検する。 ②弁の開閉の良否を点検する。 ③冷水及び冷却水系統の各水室部に水漏れのないことを確認する。		
9. 運転調整 a. 音及び振動	①異常のないことを確認する。		①異常のないことを確認する。
b. 電流及び電圧	①運転時における主電源電圧の変動が、規定値内にあることを確認する。 ②運転電流が規定値内にあることを確認する。 ③電動機の回転方向が正しいことを確認する。		①運転時における主電源電圧の変動が、規定値内にあることを確認する。 ②運転電流が規定値内にあることを確認する。
c. 制御	①蒸気調整弁が設定温度で段階的に作動す		①蒸気調整弁が設定温度で段階的に作動す

	ることを確認する。		ることを確認する。
d. 熱源	<p>①供給蒸気の1次圧力が規定の許容範囲内にあることを確認する。</p> <p>②非通電時に、蒸気制御弁にリークのないことを確認する。</p>		<p>①供給蒸気の1次圧力が規定の許容範囲内にあることを確認する。</p> <p>②非通電時に、蒸気制御弁にリークのないことを確認する。</p>
e. 熱交換器	<p>①冷水及び冷却水の入口温度及び出口温度、溶液温度、溶液濃度、凝縮温度、蒸発温度等を測定し、その値が許容範囲内にあることを確認する。</p> <p>②不凝縮ガスの混入及び冷却管の汚れの有無を点検する。</p>		<p>①冷水及び冷却水の入口温度及び出口温度、溶液温度、溶液濃度、凝縮温度、蒸発温度等を測定し、その値が許容範囲内にあることを確認する。</p> <p>②不凝縮ガスの混入及び冷却管の汚れの有無を点検する。</p>
10. 真空气密	<p>①起動時に固着及び異音がなく、抽気能力に異常のないことを確認する。</p> <p>②ベルトの張りの良否及び油面の適否を点検する。</p>	<p>①起動時に固着及び異音がなく、抽気能力に異常のないことを確認する。</p> <p>②ベルトの張りの良否及び油面の適否を点検する。</p>	<p>①起動時に固着及び異音がなく、抽気能力に異常のないことを確認する。</p> <p>②ベルトの張りの良否及び油面の適否を点検する。</p>
—a. 抽気ポンプ			
—b. 抽気系統	<p>①抽気用弁を手動で全開にし、真空計の変化から開通していることを確認する。</p>	<p>①抽気用弁を手動で全開にし、真空計の変化から開通していることを確認する。</p>	<p>①抽気用弁を手動で全開にし、真空計の変化から開通していることを確認する。</p>
—c. リーク試験	<p>①抽気ポンプで機内に不凝縮ガスのないことを確認する。</p>	<p>①抽気ポンプで機内に不凝縮ガスのないことを確認する。</p>	<p>①抽気ポンプで機内に不凝縮ガスのないことを確認する。</p>
—d. パラジウムセルユニット	<p>①パラジウムセル部の焼損及び劣化度を点検する。</p>	<p>①パラジウムセル部の焼損及び劣化度を点検する。</p>	<p>①パラジウムセル部の焼損及び劣化度を点検する。</p>
—e. 真空引き	<p>①抽気ポンプを用いて機内を所定の圧力まで抽気する。</p>		

<p>11. 冷媒及び —— 吸収剤</p>	<p>①攪拌した溶液を適量採取し、腐食防止剤濃度及びアルカリ度が規定の許容範囲内にあることを確認する。 ②溶液に汚れのないことを確認する。</p>		<p>①攪拌した溶液を適量採取し、腐食防止剤濃度及びアルカリ度が規定の許容範囲内にあることを確認する。 ②溶液に汚れのないことを確認する。</p>
<p>12. 熱交換器</p>	<p>①水室の汚れ及び腐食の有無を点検する。</p>	<p>①伝熱管のスケール付着の有無を点検する。 ②伝熱管の腐食の有無を点検する。</p>	
<p>13. 保存 a. 真空系統</p>		<p>①機内真空部を所定の圧力まで下げ、窒素ガスを封入して大気圧力以上に加圧し、保存する。</p>	
<p>b. 冷水及び 冷却水系統</p>		<p>①満水または乾燥の上保存する。満水保存の場合は、さび止め剤を規定の濃度まで注入する。</p>	
<p>——c. 溶液希釈</p>		<p>①冷媒液は全て溶液に混入させ、希釈されていることを確認する。</p>	